

日本人の平均余命

平成15年簡易生命表

目次

平成15年簡易生命表について	1
1 主な年齢の平均余命	2
2 特定年齢まで生存する者の割合と寿命中位数	3
3 平均寿命の国際比較	4
4 死因分析	6
平成15年簡易生命表（男）	8
平成15年簡易生命表（女）	10
参考資料1 生命表諸関数の定義	12
参考資料2 平均余命の年次推移	13
参考資料3 死因別死亡確率と特定死因を除去した場合の 平均余命の延びの推移	14

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係：人口動態・保健統計課 計析第一係

電話：03-5253-1111（内線7470）

03-3595-2812（ダイヤルイン）

この資料は、厚生労働省ホームページに掲載しています。

掲載場所：「統計情報」→「最近公表の統計資料」

→「日本人の平均余命 平成15年簡易生命表」

<http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/life/life03/index.html>

平成 15 年簡易生命表について

平成 15 年簡易生命表は、平成 15 年における我が国の死亡状況が今後変化しないと仮定したときに、各年齢の者が 1 年以内に死亡する確率や平均してあと何年生きられるかという期待値などを死亡率や平均余命などの指標（生命関数）によって表したものである。

これらの関数は男女別に各年齢の死亡件数と中央人口（7 月 1 日現在）を基にして計算されており、その関数値は現実の我が国の年齢構造には左右されず、死亡状況のみを表している。したがって、我が国の死亡状況を厳密に分析する上で不可欠なものとなっている。また 0 歳の平均余命である「平均寿命」は、我が国の死亡状況を集約したものとなっており、保健福祉水準を総合的に示す指標として広く活用されている。

表 章 記 号 の 規 約

...	計数不明の場合
-----	---------

1 主な年齢の平均余命

平成15年簡易生命表によると、男の平均寿命は78.36年、女の平均寿命は85.33年と前年と比較して男は0.04年、女は0.10年上回った。各年齢の平均余命については、前年に比べ、女は全年齢で上回ったが、男は85歳で0.02年、90歳で0.03年下回った。また、男女の平均寿命の差は、6.97年で前年より0.06年拡大した(表1、表2)。

平均寿命の伸びを死因別に分析すると、男女ともに自殺及び肺炎が平均寿命を減少させる方向に働き、特に男の自殺が平均寿命を減少させている一方で、男女とも前年に引き続き悪性新生物、脳血管疾患等が平均寿命を延ばす方向に働いた(図1)。

表1 主な年齢の平均余命とその伸び

(単位：年)

年齢	男			女		
	H15年	H14年	伸び	H15年	H14年	伸び
0歳	78.36	78.32	0.04	85.33	85.23	0.10
5歳	73.68	73.66	0.02	80.65	80.55	0.10
10歳	68.72	68.71	0.01	75.69	75.60	0.09
15歳	63.76	63.75	0.01	70.73	70.63	0.10
20歳	58.89	58.87	0.02	65.79	65.69	0.10
25歳	54.05	54.05	0.00	60.87	60.77	0.10
30歳	49.23	49.21	0.02	55.97	55.86	0.11
35歳	44.43	44.40	0.03	51.08	50.97	0.11
40歳	39.67	39.64	0.03	46.22	46.12	0.10
45歳	35.01	34.97	0.04	41.41	41.31	0.10
50歳	30.47	30.42	0.05	36.68	36.58	0.10
55歳	26.12	26.07	0.05	32.04	31.95	0.09
60歳	21.98	21.93	0.05	27.49	27.40	0.09
65歳	18.02	17.96	0.06	23.04	22.96	0.08
70歳	14.35	14.32	0.03	18.75	18.69	0.06
75歳	11.09	11.07	0.02	14.72	14.67	0.05
80歳	8.26	8.25	0.01	11.04	11.02	0.02
85歳	5.95	5.97	-0.02	7.95	7.94	0.01
90歳	4.26	4.29	-0.03	5.57	5.56	0.01
95歳	3.10	3.10	0.00	3.93	3.88	0.05
100歳	2.28	2.26	0.02	2.84	2.73	0.11

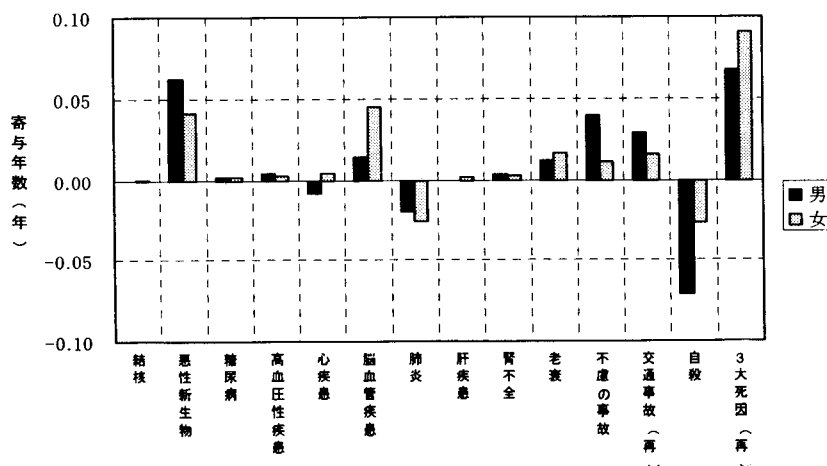
表2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

暦年	男	女	男女差
昭和22	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
8	77.01	83.59	6.58
9	77.19	83.82	6.63
10	77.16	84.01	6.85
11	77.10	83.99	6.89
12	77.72	84.60	6.88
13	78.07	84.93	6.86
14	78.32	85.23	6.91
15	78.36	85.33	6.97

注1：平成7年まで及び平成12年は完全生命表による。
 注2：昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の伸びに対する死因別寄与年数



2 特定年齢まで生存する者の割合と寿命中位数

平成15年簡易生命表によると、男女それぞれ10万人の出生に対して65歳の生存数は男85,320人、女93,010人となっている。これは65歳まで生存する者の割合が男で85.3%、女で93.0%であることを示している。同様に、80歳まで生存する者の割合は男で54.5%、女で76.3%となっている（表3、図2）。

また、その年に生まれた者のうちの半数が生存すると期待される年数を寿命中位数といい、平成15年においては、男が81.35年、女が88.09年である。平均寿命に比べ、男は2.99年、女は2.76年上回っている（表4）。

表3 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合

(単位：%)

暦年	男			女		
	40歳	65歳	80歳	40歳	65歳	80歳
昭和22	68.0	39.8	9.5	70.9	49.1	17.3
25-27	81.8	55.1	16.6	83.2	62.8	26.1
30	87.0	61.8	20.0	89.0	70.6	31.9
35	89.7	64.8	20.1	92.2	75.2	33.8
40	92.6	69.1	22.6	95.0	80.0	38.4
45	93.7	72.1	26.1	96.1	82.6	43.0
50	95.1	76.8	33.2	96.9	86.1	50.7
55	96.1	79.4	37.8	97.6	88.5	57.0
60	96.7	81.1	42.8	98.0	90.1	63.0
平成2	97.1	82.6	46.9	98.3	91.3	67.8
7	97.2	83.3	48.2	98.4	91.6	70.2
8	97.4	83.9	50.0	98.5	92.1	71.9
9	97.5	84.3	50.6	98.5	92.2	72.7
10	97.3	84.1	50.8	98.5	92.2	73.1
11	97.4	84.1	50.6	98.5	92.3	73.1
12	97.5	84.7	52.5	98.6	92.6	74.5
13	97.6	85.1	53.5	98.6	92.8	75.3
14	97.7	85.4	54.2	98.6	92.9	75.9
15	97.6	85.3	54.5	98.6	93.0	76.3

注1：平成7年まで及び平成12年は完全生命表による。

注2：昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

注3：生命表作成時点における死亡状況を一定不変とした場合の状況を表しており、現実の生存者の割合とは異なっている。

図2 生命表上の特定年齢まで生存する者の割合

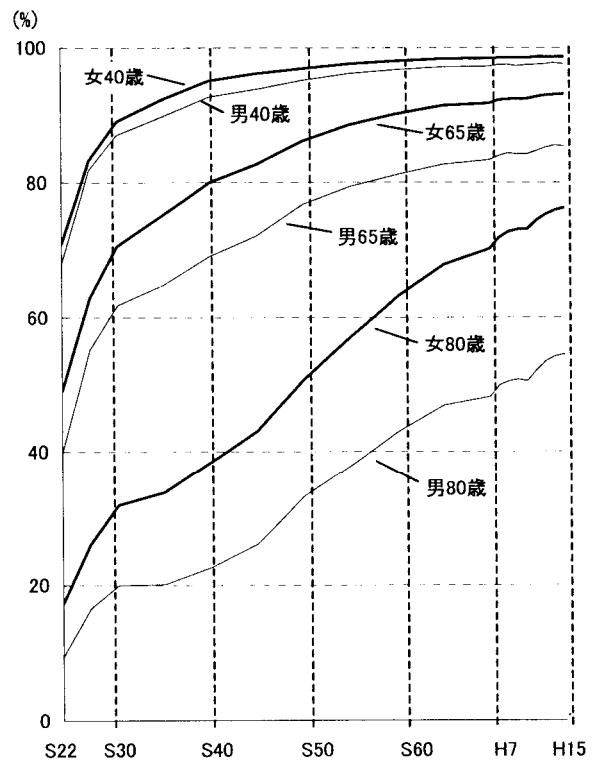


表4 寿命中位数

(単位：年)

暦年	男	女
昭和22	59.28	64.45
25-27	67.22	71.31
30	69.79	74.19
35	70.66	75.44
40	72.00	77.04
45	73.10	78.19
50	75.31	80.17
55	76.69	81.75
60	78.06	83.38
平成2	79.13	84.71
7	79.49	85.73
8	80.01	86.38
9	80.18	86.63
10	80.24	86.85
11	80.18	86.81
12	80.74	87.41
13	81.08	87.72
14	81.28	88.02
15	81.35	88.09

注1：平成7年まで及び平成12年は完全生命表による。

注2：昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

3 平均寿命の国際比較

平均寿命の諸外国との比較は、国により作成期間が異なるので厳密な比較は困難である。しかし、現在入手している資料を用いて比較すると表5のとおりである。

図3は、諸外国の平均寿命の年次推移を図示したものである。

表5 平均寿命の国際比較

国又は地域		作成基礎期間	男	女	(参考) 人口 (万人)
	日本 (Japan)	2003*	78.36	85.33	12 614
アフリカ (AFRICA)	エジプト (Egypt)	2003*	67.90	72.30	6 398
	ナイジェリア (Nigeria)	1995-2000	48.7	51.5	11 522
	南アフリカ (South Africa)	1996*	52.11	61.60	4 369
北アメリカ (NORTH AMERICA)	カナダ (Canada)	2001*	77.0	82.1	3 075
	メキシコ (Mexico)	2003*	72.43	77.36	9 702
	アメリカ合衆国 (United States)	2001*	74.4	79.8	28 323
南アメリカ (SOUTH AMERICA)	アルゼンチン (Argentina)	1990-1992*	68.44	75.59	3 703
	ブラジル (Brazil)	2002*	67.3	74.9	16 772
アジア (ASIA)	中国 (China)	2000*	69.63	73.33	127 513
	インド (India)	1993-1997*	60.4	61.8	100 214
	インドネシア (Indonesia)	1995-2000	63.3	67.0	21 049
	イスラエル (Israel)	2001*	77.3	81.2	604
	韓国 (Korea, Republic of)	2001*	72.84	80.01	4 728
	シンガポール (Singapore)	2003*	76.9	80.9	413
	タイ (Thailand)	1995-1996*	69.9	74.9	6 232
	香港 (Hong Kong)	2002*	78.6	84.5	680
ヨーロッパ (EUROPE)	オーストリア (Austria)	2001*	75.59	81.58	811
	チェコ (Czech Republic)	2003*	72.03	78.51	1 027
	デンマーク (Denmark)	2002-2003*	74.89	79.48	534
	フィンランド (Finland)	2002*	74.9	81.5	518
	フランス (France)	2000*	75.2	82.8	5 889
	ドイツ (Germany)	2000-2002*	75.38	81.22	8 202
	アイスランド (Iceland)	2001-2003*	78.7	82.5	28
	イタリア (Italy)	2000*	76.54	82.51	5 776
	オランダ (Netherlands)	2002*	76.0	80.7	1 586
	ノルウェー (Norway)	2003*	77.04	81.93	449
	ロシア (Russian Federation)	2001	59.0	72.3	14 549
	スウェーデン (Sweden)	1998-2002*	77.30	82.00	887
	スイス (Switzerland)	2001	77.4	83.0	717
オセアニア (OCEANIA)	オーストラリア (Australia)	2001*	77.5	82.6	1 916
	ニュージーランド (New Zealand)	2000-2002*	76.3	81.1	383

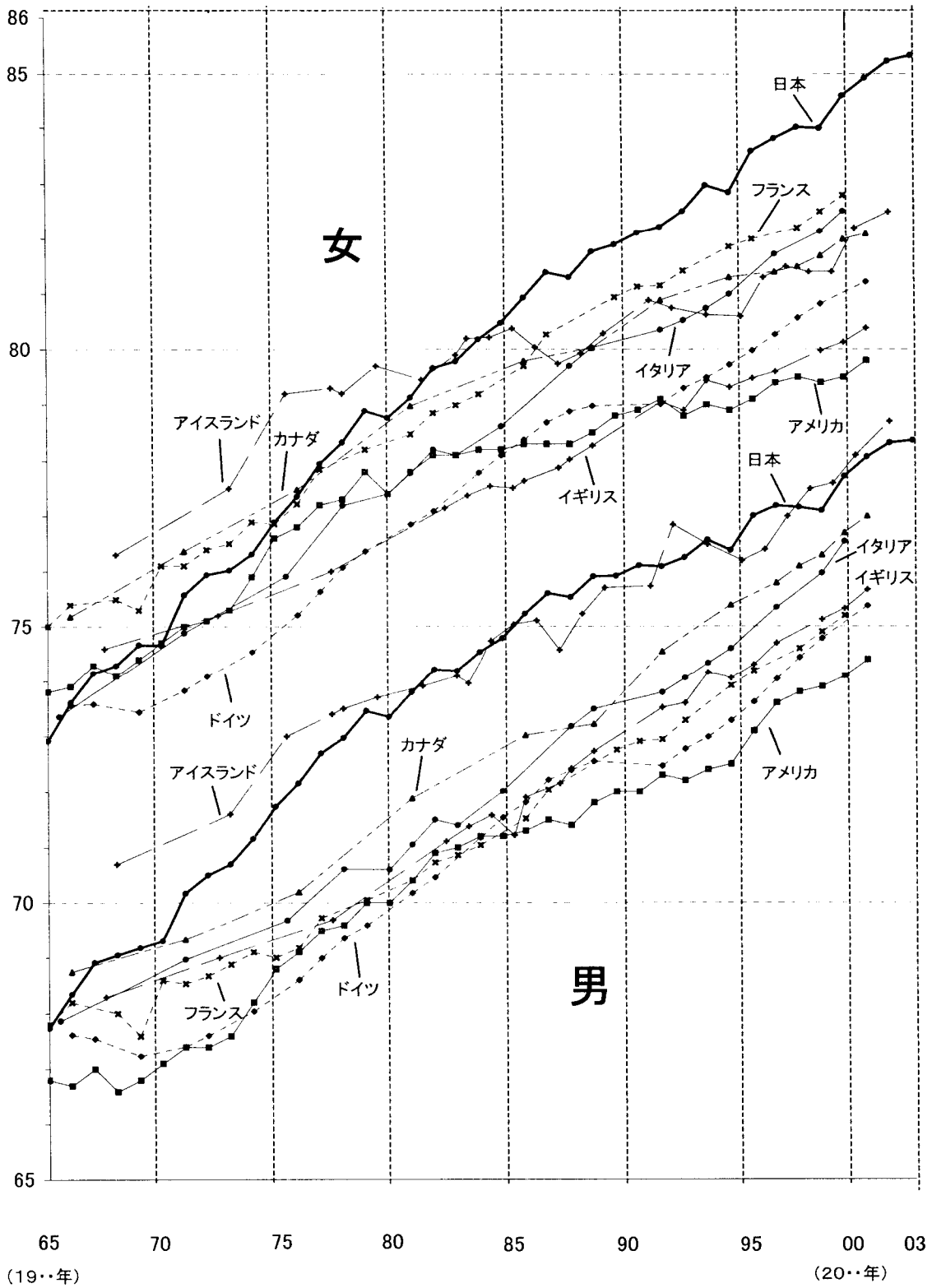
資料：Demographic Yearbook 2000, U.N., Recent demographic developments in Europe等

*印は平均寿命が当該政府の資料によるもの

注：人口は2000年の年央推計人口である。ただし、日本については平成15年10月1日現在推計人口である。

図3 諸外国の平均寿命の年次推移

平均寿命(年)



資料：U.N. Demographic Yearbook 等

注：1990年以前のドイツは、旧西ドイツの数値である。

4 死因分析

(1) 死因別死亡確率

人はいずれ何らかの死因で死亡することになるが、生命表の上で、ある年齢の者が将来どの死因で死亡するかを計算し、確率の形で表したものが死因別死亡確率である。

平成15年の死因別死亡確率をみると、0歳では男女とも悪性新生物で将来死亡する確率が最も高く、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順になっている。65歳では0歳に比べ悪性新生物の死亡確率が低く、他の死亡確率が高くなっている。80歳では更にこの傾向が強くなっている。男女とも0歳、65歳、80歳の各年齢で、3大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）の死亡確率は全体の半分以上を超えている（図4）。

また、前年と比較すると、男女ともに脳血管疾患の死亡確率は低くなっているが、心疾患、肺炎の死亡確率は高くなっている（表6）。

図4 死因別死亡確率（主要死因）

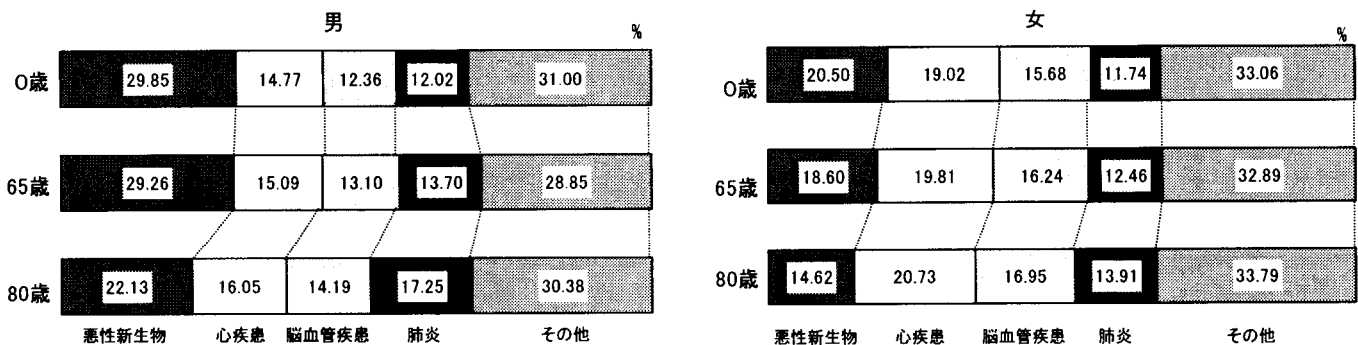


表6 死因別死亡確率（主要死因）の推移（0歳・65歳・80歳）

(単位:%)

主要死因	年齢	男					女				
		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年
悪性新生物	0歳	29.29	30.02	30.05	30.12	29.85	19.78	20.28	20.57	20.56	20.50
	65歳	28.36	29.17	29.27	29.45	29.26	17.68	18.22	18.53	18.63	18.60
	80歳	20.62	21.52	21.78	22.12	22.13	13.38	13.96	14.34	14.51	14.62
心疾患	0歳	14.47	14.43	14.42	14.68	14.77	18.49	18.60	18.50	18.78	19.02
	65歳	14.94	14.87	14.79	15.04	15.09	19.34	19.46	19.30	19.57	19.81
	80歳	15.96	15.89	15.75	16.01	16.05	20.12	20.37	20.17	20.49	20.73
脳血管疾患	0歳	13.51	13.13	13.04	12.55	12.36	17.22	16.92	16.62	16.12	15.68
	65歳	14.47	14.02	13.89	13.33	13.10	17.94	17.59	17.28	16.72	16.24
	80歳	15.85	15.40	15.18	14.52	14.19	18.79	18.39	18.13	17.48	16.95
肺炎	0歳	11.93	11.68	11.52	11.65	12.02	12.01	11.48	11.15	11.26	11.74
	65歳	13.69	13.37	13.15	13.26	13.70	12.82	12.23	11.88	11.97	12.46
	80歳	17.48	17.03	16.74	16.80	17.25	14.45	13.74	13.31	13.41	13.91
3大死因 (悪性新生物、心疾患、脳血管疾患)	0歳	57.26	57.58	57.51	57.35	56.98	55.49	55.80	55.69	55.46	55.20
	65歳	57.78	58.06	57.94	57.81	57.44	54.95	55.27	55.11	54.92	54.66
	80歳	52.42	52.80	52.71	52.64	52.37	52.29	52.72	52.64	52.49	52.30

(2) 特定死因を除去した場合の平均余命の延び

ある死因が克服された場合、その死因によって死亡していた者は、その死亡年齢以後に他の死因で死亡することになる。その結果死亡時期が繰り越され、平均余命が延びることになる。この延びは、その死因のために失われた平均余命としてみることができ、これによって各死因がどの程度平均余命に影響しているかを測ることができる。

平成 15 年についてみると、0 歳、65 歳における延びは男女とも悪性新生物、心疾患、脳血管疾患、肺炎の順となっている。一方、80 歳における延びは男は悪性新生物、肺炎、心疾患、脳血管疾患の順となっており、女は心疾患、脳血管疾患、悪性新生物、肺炎の順になっている。

3 大死因（悪性新生物、心疾患、脳血管疾患）を除去した場合の延びは、0 歳では男 8.71 年、女 7.90 年、65 歳では男 7.05 年、女 6.60 年、80 歳では男 4.39 年、女 5.01 年となっている（表 7）。

表 7 特定死因を除去した場合の平均余命の延び(0 歳・65 歳・80 歳)

(単位:年)

主要死因	年齢	男					女				
		H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年
悪性新生物	0歳	3.93	4.08	4.12	4.11	4.04	2.92	3.03	3.05	3.04	3.01
	65歳	2.90	3.05	3.11	3.14	3.10	1.88	1.98	2.01	2.04	2.02
	80歳	1.22	1.33	1.39	1.43	1.43	0.92	0.99	1.03	1.06	1.06
心疾患	0歳	1.51	1.52	1.54	1.58	1.59	1.66	1.68	1.67	1.71	1.73
	65歳	1.16	1.17	1.19	1.22	1.22	1.56	1.60	1.57	1.61	1.63
	80歳	0.85	0.88	0.90	0.93	0.93	1.31	1.38	1.35	1.40	1.42
脳血管疾患	0歳	1.28	1.25	1.26	1.22	1.20	1.53	1.53	1.48	1.45	1.40
	65歳	1.10	1.08	1.09	1.05	1.03	1.43	1.43	1.38	1.35	1.30
	80歳	0.85	0.86	0.87	0.84	0.82	1.21	1.23	1.20	1.17	1.13
肺炎	0歳	0.89	0.87	0.87	0.88	0.91	0.88	0.85	0.81	0.82	0.86
	65歳	0.92	0.91	0.91	0.92	0.96	0.88	0.85	0.82	0.83	0.87
	80歳	0.93	0.93	0.94	0.96	0.99	0.86	0.84	0.81	0.83	0.86
3大死因 (悪性新生物、心疾患、 脳血管疾患)	0歳	8.52	8.72	8.82	8.81	8.71	7.79	8.02	7.95	7.96	7.90
	65歳	6.79	7.00	7.12	7.15	7.05	6.43	6.67	6.61	6.65	6.60
	80歳	4.03	4.24	4.38	4.44	4.39	4.72	4.98	4.95	5.02	5.01